

4-⑥ 子どもに本当に必要ですか？

■対象：幼児～中学生の親

■時間：60分程度

■手法：ランキング

学習のねらい	子どもにとって必要なものかどうかを話し合うことで、様々な価値観にふれ、子どもにものを与える時、親としてどのようなことに配慮すべきかを考える。
準備するもの	宝カード ワークシート【P.81】 筆記用具 アドバイスタイム用配付資料

時間	学習の流れ	留意点	準備
	【はじめに】 今日、子どもに本当に必要なものを語り合う中で、親としての姿勢について考えてみましょう。その前に、ちょっと心と体をリラックスさせましょう。		
10分	【アイスブレイク】 ①宝探し（P.99） ②自己紹介	・①は4人グループに分かれた後、自己紹介をする。	宝カード
30分	《講座の前にルールとマナーを確認しましょう》 【ワークショップ】 ①ワーク1に個人でランク付けをする ②メンバーのランクを記入する ③グループで思いや考えを話し合う ④グループごとに発表する ⑤まとめ	・全部をランキングできなければ、できるところまででいいことを伝える。 ・②では、メンバーのランクを表に記入するように伝える。 ・③では、意見が異なる点を中心に話し合うよう伝える。 ・④では、話し合いの様子について簡単に発表してもらう。	筆記用具 ワークシート（P.81）
18分	【ふり返りと分かち合い】 ①今後配慮すべきことについて、ワーク2にまとめる ②グループで発表し合う	・自己をふり返り、今後について考える時間をとる。 ・全体に広げることができれば、取り上げてよい。	ワークシート（P.81）
2分	【アドバイスタイム】 いかがでしたか？ ものがあふれている今、子どもたちの望むまま与えすぎていることはないでしょうか？ 文部科学省発行の家庭教育手帳には、次のような記述があります。 ※資料 P.112「子どもの言うことを何でも聞くことが、親のやさしさとは限らない」を読む。		配付資料
	《講座の最後にルールとマナーの確認をしましょう》		

4-⑥ 子どもに本当に必要ですか？

①ワーク1に個人でランク付けをする (5分)



ワーク1をご覧ください。
そこには、「子どもに必要(?)なもの」を()個あげています。それぞれについて、子どもに本当に必要なものかどうかを考え、A・B・C・Dのランクを付けましょう。

※対象やその実態に合わせて、物品の内容を変更するとよい。
また、目的や時間に合わせて、物品の項目数を変更してもよい。

ランクについて説明します。表の下をご覧ください。

- ・必要(あった方がよい) → A
- ・どちらかといえば必要 → B
- ・どちらかといえば必要ない → C
- ・必要ない(ない方がよい) → D

では3分で、まず自分でA~Dのランク付けをしてみましょう。
早く書き終えた方は、なぜそのランクにしたのかをメモしておきましょう。
(後でお互いに発表し合うためです)

②メンバーのランクを記入する (3分)

(ランク付けがほぼ完了したことを確認してから)
では、グループのみなさんのランクを聞いてみましょう。ワーク1にみなさんのランクも記入していきましょう。



③グループで思いや考えを話し合う (13分)



なぜそのランクにしたのか、それぞれの考えを話し合ってみましょう。
あとで、話し合いの様子を発表してもらいますので、発表する方を決めておいてください。
※話し合いが進まないグループには、話し合いのきっかけをつくる。
(例：必要ではないけれど、与えている物はありませんか)

④グループごとに発表する (8分)

それでは、代表の方は各グループでの話し合いの様子を発表してください。
(すべての発表が終了したら、簡単にコメントをする)



⑤まとめ (1分)



様々な観点から意見を出していただきました。それでは、今日の学習を通して、今後子どもにものを与える際に、どのようなことに配慮すればよいか個人で感じたことをワーク2に書いてみましょう。

ワーク1

下記の項目について子どもに必要なものかどうかを考え、A～Dでランクを付けましょう。

子どもに必要(?)なもの	あなた	グループのメンバー				
①毎月のお小遣い						
②ゲーム機・ゲームソフト						
③パソコン(共有含む)						
④子ども部屋						
⑤DVD・CD(音楽・映画)						
⑥流行のカードやシール						
⑦携帯電話						
⑧まんが・コミック誌						
⑨						
⑩						

ランクの目安	Aランク	必要(あった方がよい)
	Bランク	どちらかといえば必要
	Cランク	どちらかといえば必要ない
	Dランク	必要ない(ない方がよい)

ワーク2

今後、子どもにものを持たせる際に、どのようなことに配慮すればよいか書きましょう。

